

交流センターだより



大歳地域交流センター
公式 Twitter アカウント

No.174
令和5年
9月号

おおとし

発行 大歳地域交流センター TEL 922-4035 FAX 922-4036 人口 14,151 世帯数 7,017
開館時間 8時30分～17時15分 (行政窓口 TEL 922-2461) 令和5年8月1日現在

第37回おおとし夏まつりを開催しました！

おおとし夏まつりを4年ぶりに開催しました。ステージ出演や模擬店など、様々な催し物でお祭りが盛り上がりました！ご協賛いただいた皆様、まつりの運営に携わる地元企業、地域有志、地域団体の皆様、ご来場の皆様には心から感謝申し上げます。



スマートフォン講座の受講者を募集します！

下記の日程でスマートフォン講座を開講します。1回のみのお受講も、3回全ての受講も可能です。

○実施日程

令和5年10月 5日 (木)	9:50～12:00
令和5年10月 12日 (木)	9:50～12:00
令和5年10月 19日 (木)	9:50～12:00

○講座内容

- ①アプリのインストール方法
- ②インターネットの利用方法
- ③メールの利用方法
- ④地図アプリの利用方法
- ⑤SNSの使い方
- ⑥スマートフォンを安全に使うためのポイント

○実施主体 山口市シルバー人材センター

○定員 各回10名程度 ※先着順

○受講料 無料

○会場 大歳地域交流センター 講座室

○申込先 大歳地域交流センター 地域担当 TEL 922-4035

○申込期間 9月8日(金)～9月29日(金)



スマートフォンの持参をお願いします！



鴻南地域包括支援センターからのお知らせ ～ご存知ですか？九月は世界アルツハイマー月間です！～

認知症は誰にも起こりうる脳の病気です。正しい知識を持ち、早期に診断を受けこれからの事を一緒に考えていきましょう。

認知症と診断されても生活が急に変わるわけではありません。備えることは、認知症とともにあなたがあなたらしく暮らせる希望ある社会の実現につながります。

認知症になっても安心して過ごせる地域はどんな地域でしょうか。みなさんのアイデアやご意見・声をツリーにしての展示も企画しています。地域交流センターにメッセージBOXを設置しておりますので、ぜひご参加ください。



『もっと知ろう もっと語ろう 認知症』
2023年度世界アルツハイマー月間標語



山口市鴻南地域包括支援センターは身近な相談場所です。訪問や電話で相談に対応します。お気軽にご連絡下さい。 ☎ (083) 934-3333

みんなのひろばからのお知らせ 太陽クラブからのお知らせ

★内容

・お手玉遊び

「むかしなつかしお手玉会（中村信子代表）」の皆さんと一緒にお手玉遊びにチャレンジしませんか！

お手玉1個から子どもも大人も楽しく遊べますよ。

★日時 9月9日(土) 13時30分～15時30分

★場所 大歳地域交流センター 講堂

★参加費 100円(おやつとドリンクバー付き)

★連絡先 大窪(080-2904-8193)

※会員制ではありませんので、どなたでも参加OK！
申込み不要です。お気軽にどうぞ。

太陽クラブ9月のお知らせ☀

今月はダンスの先生をお呼びしています！
みんなで曲にあわせて、体を動かし、楽しく遊びましょう♪

フープやバルーンなどの道具も使うかも？！
初めての方も大歓迎です！！ぜひご参加ください😊

☀日時：9月22日(金) 10時00分～

☀内容：運動遊び

☀場所：大歳地域交流センター 講堂

☀参加費：無料

☀持ち物：飲み物、動きやすい服装でご参加ください♪

☀募集人数：未就園児の親子10組程度

☀申込先：水原(090-4897-5649)

母推さんの子育て応援講座

9月はベビーヨガです。親子で楽しく体を動かしましょう。ご参加お待ちしております♪

日時：9月13日(水)
10:00～11:00
(受付9:30～)

場所：大歳地域交流センター 和室

講師：米屋 麻香さん

対象：およそ首のすわった3ヶ月以上～1歳程度の乳幼児とその保護者

定員：15組

持参物：飲み物、バスタオル、おむつ

申込先：大歳地域交流センター
(TEL 922-4035)

※9月1日(金)から受付開始



大歳地区社会福祉協議会からのお知らせ

奇数月の
第2木曜日
9時~12時
定期的に
行います

福祉に関するなんでも相談 ふくまる相談室

相談料
無料

ふくまる相談室
(鴻南包括支援センター併設)
☎083-934-3333

山口市地域福祉課が市内10カ所に開設している「ふくまる相談室」が定期的に大歳へ出張してきます！

ご家族での困りごと、ご近所での困りごと、気になること、不安なこと心配ごとを専門の相談員へご相談ください。

家族がひきこもりになっている

近所に心配な方がいる

生活が苦しい

どうしたら...

親の介護と子育ての両立がむずかしい

ちょっと気になるのよ...

どこに相談をしてもわからない

失業して住む家がなくなってしまう

開催日

9月14日(木)

9:00~12:00

大歳地域交流センター
第1会議室

※予約不要です

などなど何か心配ごとがあれば遠慮なくご相談、お話をしてください。

TNR活動についてのお知らせ

大歳地区バドミントン大会を開催します！

山口市は地域でTNR活動を行う団体を支援しています。

- TNRとは、
- ①猫を捕獲する (Trap)
 - ②猫に不妊・去勢手術を施す (Neuter)
 - ③猫が生活していたもとの地域へ戻す (Return)

の頭文字をとったもので、将来的に野良猫を減らすための有効な手段の一つといわれています。

TNR活動に興味がある方は後述の連絡先までお問い合わせください。

また、9月中旬ごろ、猫の適正飼養に関するパンフレットを大歳地域交流センターに配布する予定ですのでご覧ください。

連絡先
山口市環境衛生課衛生調整担当
083-941-2176



下記の日程で大歳地区バドミントン大会を開催します。分館対抗戦と個人戦がありますので奮ってご参加ください。



日時：10月1日(日) 開会式8時30分~

場所：大歳小学校体育館

競技種目：分館対抗の部(男子・女子・混合ダブルス)、クラス別による個人の部(混合ダブルス)

問い合わせ：大歳体育振興会
(大歳地域交流センター内)
(TEL 922-4035)

※出場希望の方は各地区分館長・体育委員さんに9月1日(金)~9月20日(水)までに直接お申込みください。

【大歳地区9月の行事予定】

- 4日(月) 燃やせないごみの日
ペーパーフラワーづくり(9:00~12:00)
- 8日(金) ぶっくん来館日(15:20~16:00)
- 9日(土) みんなのひろば(13:30~15:30)
- 11日(月) 金属・小型家電製品ごみの日
ペーパーフラワーづくり(9:00~12:00)
- 13日(水) 母推さんの子育て応援講座(10:00~11:00)
- 15日(金) パソコン相談(受付 10:00~10:30)



- 20日(水) びん・缶ごみの日
 - 22日(金) 古紙ペットボトル分別収集(大歳①)
子育て支援サークル 太陽クラブ(10:00~)
ぶっくん来館日(15:20~16:00)
 - 23日(土) 分館対抗バレーボール大会
 - 28日(木) 古紙ペットボトル分別収集(大歳②)
- ※木曜日はプラ容器包装分別収集



初代県令・中野梧一と瓦屋の娘

1871（明治4）年、山口県参事・県令代理に登用された中野梧一は、幕臣で勘定方をつとめる英才でしたが、函館戦争に加わった反逆者でした。しかし、井上馨にその才能を見込まれて明治政府にとりたてられ、県令代理として赴任すると湯田の馨の家を貸し与えられる間柄でした。廃藩置県によって、中央集権化を進めたい政府は、県令が旧藩時代の慣例や縁故にとらわれないよう、県令には県外の人間に登用しました。とはいえ榎本武揚の函館五稜郭の反政府軍に参加した人間が県令になれば、この戦争に参加した人間もたくさんいる長州ではなかなか大変なこともあったはずですが。幸いにも幕末に活躍した口やかましい元気者は大挙して新政府の役人となっており、山口に残って中野を助けた高官は実務派タイプが多く、とりわけ最高顧問格として彼を支えたのが、高杉晋作の父・小弥太や吉田松陰の長兄・杉民治であったことは歴史のめぐりあわせの面白さです。

「中野梧一日記」は県令の仕事ぶりを見ることができる貴重な資料ですが、1872（明治5）年1月の項に湯田の旅館、瓦屋の記述がでてきます。瓦屋は藩の休息所である「茶屋」と並んで、湯田で2つだけの瓦ぶきの旅館でした。当時は錦川が流れ、小舟で人や物が行きかう交通の要所に、この2つの旅館が川を挟んで向き合っており、ここが湯田の中心だったと思われます。現在は松田屋の裏手の跡地に瓦屋の石碑が建っています。

ところで、日記には「（次女京子と思われる）瓦屋ノ娘ハ碁ヲ好ム。和歌ヲ能クス。醜ハ極ル。」と書かれています。女ながら碁をする（中野も碁好きで有名）、和歌をたしなむと褒めておいて、最後に極めつけの醜女（ブス）と書いているのです。旅館の娘と思って、ちょっかいを出したら猛反撃をくらい、ムシャクシャして悪口を書いたのでしょうか。とすると梧一に勝ち目はありません。瓦屋は幕末期、多くの志士たちが出入りし、彼らのアイドル的存在だった瓦屋の娘たちは、酒飲みとの言い合いは手慣れたものだったでしょう。とりわけ長女の龍子は「井上馨の養女」となって山田市之丞（後、顕義）の妻となっています。山田顕義は大村益次郎の秘蔵っ子で、西郷隆盛がその用兵の才を激賞し「小ナポレオン」とまで言われた軍事の天才です。後に初代司法卿をつとめ日本大学の創設者でもあります。ただ、不運な事故死がその業績を中途半端に終わらせました。「函館であなたたちを打ち破った人が私の義兄ですよ」と言われればグーの音もでません。残念ながら、こうした仮想バトルはなかったようです。梧一の日記で「醜なり」と書かれた女性は京子だけではありません。「美なり」と書かれた女性が皆無なのと対照的です。彼女については別の日の項に「小三郎（詳細不明）フトリタル娘ガ欲シキ趣、瓦屋ノ娘気ニ入り申スベキト考エ、独笑ス」と書かれています。嫁にもらうなら太った娘がよいという奴がいるが、瓦屋の娘は気に入るだろうかと思って、一人笑いをした」というのです。どうやら「醜の極み」の一因は、彼女が太っていることにあるようですが、彼が彼女を気に入っていることもわかります。

（史談会：文責 武波義明）



松田屋裏手にある「瓦屋」跡の史跡



明治末期の「瓦屋」